

神樹の会会報

No. 49
平成 11 年 12 月 20 日

発行所：神樹の会
発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

福祉の店“いたやど” ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

垂水作業支援センター ☎782-9675
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3

第28回 チャリティー バザー

あたたかい贈り物を未来へ



第28回神樹の会バザーが10月27、28日にハーバーランドスペースシアターにて盛大に開催されました。たくさんの方々から温かい心をいただき、2000年に向かって飛躍していきたいと思っております。

バザーの収益金は各事業所の活動を支え、また、重度障害者施設建設のために積み立てられます。皆様のご支援とご協力に心より感謝いたします。

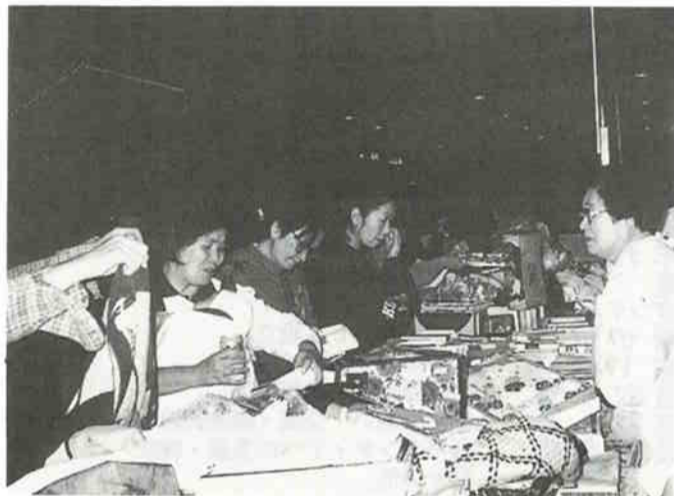


第28回バザー 収支報告

第1日目売上	3,059,007
第2日目売上	2,228,525
会場募金	9,454
寄付金	1,146,376
委託より	224,780
計	6,668,142

会場使用費	309,960
会場設営費	523,015
印刷費	121,350
一般物品費	74,324
材料費	82,478
通信費	126,710
事務費	42,341
交通費	139,730
雑費	225,566
計	1,645,474

差引収益 5,022,668円



▲あれがいいかな、これがいいかな…。(会場風景)

今年のバザーもおかげさまで盛況のうちに終えることができました。不景気の中多くの方々のご援助をいただきましたことまた例年のように多額のご寄付・出品をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。心のこもった収益金は身体障害者のために有意義に使わせていただきたいと思います。どうもありがとうございます。していただく措置から選ぶ契約

エンパワメントを 神樹の会会長 宮脇テル子

へと変革がなされていく福祉の新时代の中にあつて、障害者・親や取り巻く関係者も与えられ、という受け身から積極的に選んでいくか、あるいは自ら選んでいくか。そのために障害者自身が力をつけていかねばならない。エンパワメントが次代のキーワードになってくる。障害者を社会的弱者としてとらえるノーマライゼーションの理念は二十世紀への置きみやげとなるのであろうか。

お知らせ

市長表彰・理事長感謝状受賞おめでとうございます

11月9日に神戸国際ホールで行われました平成11年度神戸市社会福祉大会におきまして、次の方々が神樹の会推薦により市長表彰と社会福祉協議会理事長感謝状を受けられました。

市長表彰 朝日多光 (社会福祉事業協助者)
理事長感謝状 (奉仕活動の部)
西垣幸夫 日高美恵子 松岡幸代 (敬称略)

感謝

平成11年7月から11月までに2名の匿名の方より尊いご寄付をいただきました。

第7回 ゆうすい希望展

日時：平成11年12月21日(火)～26日(日)
午前11時～午後6時
(最終日 午後5時まで)
場所：ギャラリーミウラ
神戸市中央区中山手通1-8-19
☎391-2665

ヤング フェスティバル

日時：平成12年2月20日(日)
午後1時～午後4時まで
場所：しあわせの村 研修館大ホール
参加費：500円

新年会

日時 平成十二年一月二十三日(日)
午後一時三十分より
場所 神戸ハーバーランド ニューオータニ 五階
楽しいひとときを過ごしませんか。多数のご参加をお待ちしています。

介護保険について
十二月十五日(水) 午前十時より心障センター三階に於いて須磨区福祉部長室井恭子様より介護保険についての講演がありました。

第2回 実態調査アンケートによる
パートII

朗報
神樹の会の活動が好評で、
障害者への支援や、障害者
の生活改善の為に、
福祉施設の新築が決定し、
「障がい者福祉センター」
として建設が予定されています。



Q. 福祉バザーについて

- ①会員が無理をしない範囲で続ける 52.86%
- ②大きな財源であるので頑張って続ける 16.74%
- ③会員の負担はあるが啓発活動として続ける 12.78%
- ④会員の負担が大きいのでやめた方がいい 7.05%
- ⑤その他 5.29%
- 無回答 8.81%
- 計 103.52%

(複数回答)

他の歳入の意見

- ・物品販売
- ・寄付など
- ・企業から寄付金を集める。
- ・会費だけでよい。
- ・年会費を増やす。
- ・企業の寄付や外部の働きかけで1口いくらかという形で会員(障害者の父母以外)を募る。

上記の意見が、アンケートで広く意見を頂戴した結果、上記のように約八割の方々が「無理をしないでがんばって続ける」という前向きな回答をいただいた。また他の歳入の方法を設けたところ上記のような回答があった。

「いっしょに癒されて」
十二月二日のOB懇談会で、六甲病院チャプレンの沼野尚美先生から「いやされる人とかかわり」と題してお話をいただきました。ホスピスで人生の最期を迎えようとしている患者さんの心のケアという重い内容でしたが、先生のお人柄と、時には軽妙にユーモアのある患者さんのお話等をして下さったので、泣いたり笑ったりしてあっという間に時間が過ぎ、あとには心にポツと温かいものが残りました。続いてレストランで和のオーダブルに洋のコースという目先の変わったともおいしいお料理をいただき、ハートもお腹も大満足の日でした。



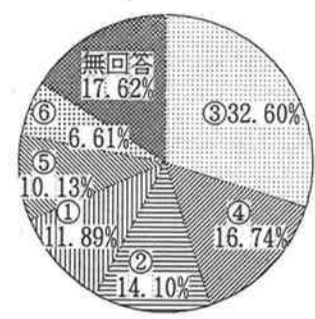
今年も残すところあとわずかになりました。会報四十九号をお届けします。夢と希望のもてる二〇〇〇年になればとの思いで作成しました。ご協力下さった皆様に心よりお礼申し上げます。
(肝 隔 福田 林 山下 日高 矢野 小野 大住 山内 宮脇)

計報
平成十一年七月から十一月までに次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。
石黒良康様 (昭和五十四年度垂水養護学校卒 石黒道規さんの父親)
岡 巖様 (昭和六十三年から平成五年まで本会の会計監査を担当して下さいました。)
北川能章様 (昭和六十三年年度垂水養護学校卒)
中田真由美様 (昭和五十七年度垂水養護学校卒)
(岡幸代さんの父親)



Q. 活動についてどのように思われますか?

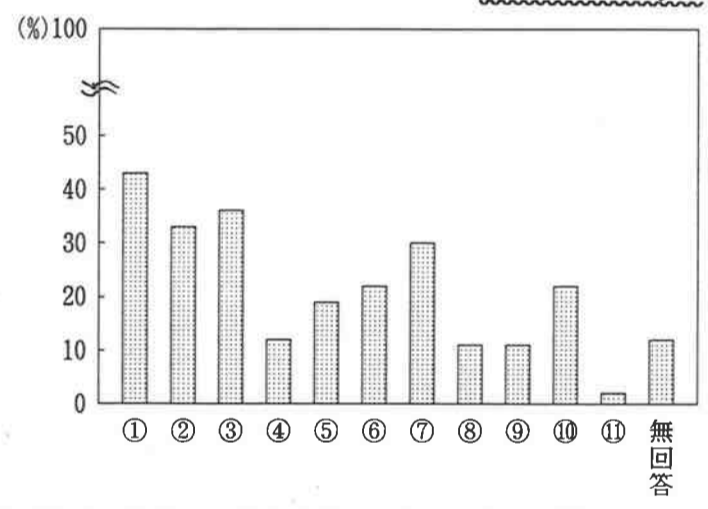
- ①活動内容が多くてよく分からない。
- ②活発に活動されている。
- ③活動がマンネリ化して沈滞している。
- ④これまで以上の活動が必要と思われる。
- ⑤現状の活動で精一杯である。
- ⑥その他 (何かご意見があればお書き下さい)



前号に続いてアンケート結果よりパートIIをお知らせします。神樹の会の活動について、またこれから会の進む方向を会員の方々といっしょに考えていきたいと思います。

Q. 今後どのような方向に進めていってほしいと思われますか。

- ①療護施設建設
- ②神樹の会の社会福祉法人化
- ③24時間一時保護要望
- ④医療体制の強化
- ⑤福祉ホーム設立
- ⑥デイサービス設立
- ⑦ショートステイ設立
- ⑧各種相談・情報提供
- ⑨ふれあい・交流・機能訓練など
- ⑩ボランティアへの支援・育成
- ⑪その他



この設問は神樹の会をどのように進めていってほしいか。会員の方々は何をいちばん望んでいるのかを問うている。平成五年に行った実態調査と比較してみると結果はほとんど変わっていない。前回の設問になく今回の調査ではじめて登場しているのは本会の「社会福祉法人化」である。療護施設を希望するが親が元気な間は手放したくない気持ちが多く、親が介護に疲れた時また家族の用事の時に、難しい手続きなしに、ずかってくる二十四時間一時保護あるいはショートステイがほしいというのが本会の希望ではないかと思われる。

よい方向付けの提案を

かつて卒業生のために六甲作業所、垂水作業所を立ち上げ西部生活訓練部(屋敷園) 東部デイサービス、明芳デイサービスを用意することができたが、今は規制があるので残念ながら現在の任意団体である神樹の会では会員の方々が希望する事業を何ひとつも進めることはできない。どうすればよいのかを多くの方々のお知恵をいただき、よい方向に進めるためにこのたび特別委員会が発足した。どうかこの委員会からよい方向付けの提案がなされることを祈るのみである。

「三年間の友生生活」

松井 恵

友生養護学校高等部の三年間は思い出がいっぱいあります。初めて友生にきたときはすぐドキドキしていましたが、一週間で学校生活に慣れそれからとても楽しく過ごせたところ思い出しています。一年生の頃は何もわからなかったし、少し抵抗があつて学校に行きたくなかった私がいづの間にいなるんことがわかっていきました。今から思えば先生の名前とか生徒の名前とか覚えるのが大変だったなあ。高2の時は充実していたという普通の生活していったって感じあまり覚えていないのが私らしい.....
そして高3になった今は? 今年は大変な年だったような気がして。調子が悪かったりしたけど今は順調です。二学期には私の詩「未来の地図」が文化祭のテーマソングになったのがいちばんの思い出だと思います。
あと少しの間ですが何をしても楽しもうかと思うほどいろいろなことがたくて、今は活動しまくっております。後悔のない最後の学校生活はきつと忘れることができない思いでいっぱいになります。